

## 小島小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 開催日 平成 22 年 11 月 6 日（土）
- 2 場 所 小島公民館
- 3 参加者 22 人
- 4 会議の概要

### ○地域の防犯・防災について

市民

先日、地区内の二面のカーブミラーが事故で壊されてしまいました。場所は Y 字路になっていて、非常に危険な場所なので、行政センターに直すよう依頼したのですが、直るまでに 3 か月くらいかかっているのです。こういう場合に、市が先行して直していただき、その後に加害者との話し合に臨むような形にして、いずれにしても速やかに直していただきたいのです。

市長

カーブミラーを壊すというのは事故の場合がほとんどだと思うのですが、加害者と被害者の関係と、損害賠償責任をどう担保するかが難しいところだと思います。

そういった面では、もちろん交渉も早くする必要があるし、加害者がしっかりしている人だったら、保険会社とのやり取りで市が先行してやってもその辺の担保はできると思います。皆さんに御迷惑をかけないように工夫したいと思っています。

市民

それと、交通安全協会の会合で、「スピード落とせ」、「安全確認」などの立て看板を立てていただきたいとお願いしているのですが、予算がないので、おそらく 2 年後ではないかと言われていています。何とか市でも取り上げていただきたいのですが。

市長

交通安全協会は皆さんの会費だけで運営しているのではなくて、市でも補助金を出しています。今、交通安全協会が事業としてやっていますが、市も多少なりとも在庫があるので、行政センターと良く相談をしてみてください。

市民

下小島も自主防災組織があり、消火栓を使った初期消火訓練を実施しています。消火栓については、下の方から数えて 3 か所が整備されていますが、その上の方の 2 か所が未整備であり、その 2 か所が整備できればいっそう安心できるのかなと感じます。最初は消防団長さんから話をいただいて、当時、

今の時代はそれを使えば非常に早く対応できるということで、消防団のOBにお願いしてその組織ができた訳です。

それで、区の方でもなるべく多くと思って始めたところ、ホースなどは消防署が古くなったものを用意してくれました。ただ費用がかかるのは、消火栓をねじる器具や筒先を収納する赤い小さなボックスです。当時、費用の半分を町が出してくれ、残り半分を自治会で負担したと思います。

市長

多分小島はちょっと離れているので、町の時代に特別な扱いをしたのだと思います。

ただ、今は消防車も昔と違って、水を汲んだ車がありますから、皆さんが出動するよりも、その消防車が来た方が早いかもしれません。それで、消火栓に連結すれば、続けて水が出せることになります。いずれにしても、万が一の備えはしなければなりませんので、消火栓の関係は消防本部でやっていると思いますので、良く相談していただきたいと思います。

コーディネーター

年に1回、暮れに自主防災組織の役員に集ってもらい、水出しをしているのですが、他の自主防災組織はどのような活動をしているのでしょうか。

市長

この地区は昔から自警団があって、その自警団が自主防災組織として位置付けされている訳です。実はほとんどの地域は自警団が消滅しているのです。この前、太田のハートフル・ミーティングでも、自警団が自主防災組織の役割を果たすのだという話をされていましたが、ほとんどの地域の自主防災組織では、だいたい自治会長さんが組織のトップでやっています。そういった自主防災組織では、消火訓練や竹と毛布で簡単な担架を作って運ぶ訓練をするとか、炊き出し訓練で豚汁を作って食べるとか、そういう訓練をしております。

市民

そうすると、消火栓などはどこの地区でも設置されているのでしょうか。下小島の場合、1年に1回くらいはその蓋を開けて、点検しています。そういう時には、久しぶりに集まってやるのだから、皆で訓練した後に、例えば公民館に集まってちょっと話し合いをするとか、そういう費用が以前は出ていた気がします。

市長

消火栓はいたるところにあって、そこに消防自動車をつけて、消火栓とジ

ョイントして水を出すわけです。自主防災組織では、集まってくる時に避難誘導訓練をすとか、消火訓練や竹と毛布で簡単な担架を作って運ぶ訓練をすとか、炊き出し訓練とか、そういう訓練をしています。ただ消火栓を開けて水を出すだけでは、訓練に位置付けられないので、そういう訓練と一緒にやってもらえれば、必要な機材、物を買ったりしなくてはなりませんので、補助金の対象になります。そのように工夫してやっていただければ、地域の皆さんが集まって訓練することにより、地域のコミュニティにもなると思います。

市民

熊谷市には、子どもの安全を守る青色パトロールカーは何台くらいあるのか教えていただきたいのです。

市長

青色パトロールカーは今まで 2 台ありましたが、先月、ベルクさんが創業 50 周年ということで、創業地である秩父市と、それから、一番店舗数のある熊谷市に 3 台寄附していただきまして、そのうちの 1 台を妻沼行政センターに配置しました。それから先日、全国共済農業協同組合連合会から、白黒に塗ってある交通指導車を 1 台いただきました。それは本庁に置いてあります。

市民

地区内に防犯灯が設置してありますが、所々の防犯灯が屋敷内の立ち木で覆いかぶさり、防犯灯の役目が半減しています。防犯灯は高所に設置してあるので、誰が枝を切るにしても、常に危険を伴う作業と考えます。でも枝を切ることにより見通しが良くなり、防犯、防災にもつながると思います。このような場合、地域の問題として自治会が行うのでしょうか。同様な事例がある場合にどのように対応しているのか、市のお考えを伺いたいと思います。

市長

防犯灯に限らず、枝が道路に出ていて支障があるということはたくさんありますが、基本的には市なり、地域の人とその所有者にお話をして、対応してもらうのが原則だと思います。例えば市の公園の中の樹木の枝が出ているということになれば、市の責任で切ります。ただ地元の人が話づらいということもあるので、そういう時には市で対応したいと思いますが、市が直接切るということは他の地域でもしておりません。できれば地域の人から地域のコミュニケーションの中で話していただくのが一番いいと思います。

市民

それと防犯パトロールの結果、防犯灯に木が覆いかぶさっているのが 3 か

所、そして、設置の必要があるところがありました。また、カーブミラーについて、T字路で2面にする必要があるところや傾いてしまっている場所と、十字路やカーブしているところに新たに設置する必要があるところがあるので、検討してもらいたいと思います。さらに、道路の陥没箇所もありました。

市長

防犯灯は基本的には自治会さんに付けていただいて、市が応分の負担をするということになります。でも予算に限りがあるので、今年は上小島、下小島の自治会はここに付けたいと相談していただきたいと思います。

カーブミラーのことについても、帰りに職員に相談をしてみてください。妻沼行政センターの職員がみて、必要であれば対応するようにします。とりあえず、現場を確認させてください。また、道路の陥没についても、徒歩や自転車でも転倒すると大きな事故になりますから、場所を良く教えていただきたいと思います。

コーディネーター

来年3月、小島中学校が休校になりますが、歩道に影響のないよう、県道沿いの樹木を休校前に短めに切ってほしいと考えています。

市長

年度内にやれるかどうか分かりませんが、いずれにしても皆さんに迷惑のかからないように考えていきたいと思います。

○高齢者福祉について

市民

今年はインフルエンザのワクチンが不足するようなことはないのでしょうか。

もう一つ、実は私も77歳になり敬老会に呼ばれましたが、小島では75歳以上の方が79名いるそうでございます。そういうことで、75歳以上の方が介護施設へ行った場合はやむを得ないのですが、健康を維持するためにどうしたらいいかということが第一だと思っております。以前、私は小島公民館長をしていて、妻沼の当時、五つの公民館で浅草寺や帝釈天等にもバスでいったことがあります。また今は、立派な温泉場であるひかわ荘があり、送迎バスが出ています。でも私はこの小島公民館で年2回くらい、芸能等をやってもらった方がいいと思うのです。このような費用に対する補助があるのでしょうか。

市長

昨年は、新型インフルエンザのワクチンが不足しましたが、今年は心配ないと聞いております。しかも、従来型と新型の混合ワクチンなので、1回で済みます。

それから、公民館にお年寄りを集めて、楽しく余興をするための補助はできないと思います。ただ地域で色んな行事をやっていると思いますが、全体的な公民館事業に対しては、ある程度予算を用意しております。

#### コーディネーター

先ほどの高齢者の余興は、市から75歳以上1人につき1,300円をいただいて、敬老会でやったものです。その他、校区連絡会に補助金があり、子どもからお年寄りまで、要するに地域全体の人を対象に何か事業をやりなさいということなので、校区連絡会の事業として、お年寄りを対象に年2・3回やることもどうだろうかと思います。

#### 市長

校区連絡会の事業の細かい部分までは問わないので、もちろん結構です。校区連絡会の中で地域のコミュニティ活動の一つと位置付けて、それでやっていただければいいと思います。

#### 市民

介護保険料は国民年金から差し引かれています。年々上がっていくものですか。

#### 市長

介護保険は小規模な自治体では運営が困難なことから、当時妻沼町から依頼され、埼玉県内では唯一、熊谷市、深谷市、寄居町で、組合方式で運営しています。そうした中、高齢者が増え、施設入所者やデイサービスを利用する方が増える中、利用者の負担は1割です。これは3年に1度見直しをしていますが、24年度から保険料が新しくなります。全体の給付費が増えれば、必然的に保険料も上がることとなります。

#### 福祉部長

介護保険料は半分公費で繰り入れるので、半分は40歳以上65歳未満の方と、65歳以上の方と二つに分けていただく保険料でまかっています。現在、熊谷市の介護保険料は、基準額が年額47,800円で、月当たりに考えれば3,983円となりますが、所得に応じて違います。

#### 市民

介護保険に関連して、施設入所者は家族から世帯分離をして単身で来られ

るのです。そうすると、住民税非課税者は食事代などの減額措置があります。ところが、そういう制度を知らない方が多いし、低所得者ということ嫌うのです。そこで、家族負担が減る方法があることを、行政からPRしてほしいのです。

福祉部長

低所得者に対する利用料の減額措置等は、介護保険サービスという冊子で紹介しております。介護相談の際には、包括支援センターや介護保険事務所において、そうした軽減措置は実態に即した取扱いをさせていただいております。これは熊谷市だけではなく、他の団体でも同様にやっております。

市民

小島地区でも少子高齢化が進んでおり、ひとり暮らしの方や、高齢者世帯の家がだいぶ増えてきました。そこで、健康上の理由で民生委員や近所の方、親戚の方などにお世話になっている方もみられます。中にはタクシーなどを利用して、用事を足している方もみられます。つきましては、市の循環バスを考えていただけないか検討していただきたいと思います。

市長

循環バスに関する見直しはしておりますが、この小島地区にというのは難しいと思うのです。妻沼を走っている循環バスも正直時間がかかりすぎるので、不評な面があるのです。ですから、行政センターからここまで来るのに、往復するだけで30分くらいかかりますので、ちょっと難しいかなと思います。でも今、新しい試みとして、上熊谷商店街が買い物代行サービスというのを始めていますので、福祉部長から説明させます。

福祉部長

上熊谷商店街とボランティア、高齢者との三者が取り組む事業です。例えば高齢者が買い物に行けない場合、ボランティアに頼むことになるのですが、その時に600円で500円分のチケットを買います。ボランティアの方は、そのチケットの額に応じて上熊谷商店街で買い物ができるという仕組みです。それで上熊谷商店街の地域活性化にもつながるとい事業展開をしております。こうした取組が熊谷市全域でできればいいと思います。ですから、タクシー代を補助するということではなく、そういう組織、形態を作っていくながら、サービス向上を図りたいと思っています。

市民

それでは、毎回ではなくてもいいのですが、小島地区からひかわ荘へのバスについて、行政センター経由でお願いできないでしょうか。

市長

ひかわ荘のバスはお客さんを運ぶものなので、いい結果がでるか分かりませんが、検討させていただきたいと思います。

市民

小島の場合、妻沼に買い物に行くことよりも、行政センターに用事があるのです。高齢者が自転車に乗って、特に刀水橋まで行って渡るのは危険なのです。要するに行政センターに行く用事とか、健康診断に行くとか、その場合に、何等かの足が必要なので、年に 2 回くらいの補助金を出してもらえないかと思います。

市長

それが使えれば確かに地域の人には便利になると思いますが、ひかわ荘のバスは社会福祉協議会がやっているものなので、相談させていただきたいと思います。

市民

高齢者のインフルエンザ予防注射について、刀水橋を渡るのが大変なので、小島の場合には太田市に行く人が多いことから、太田市の医者でも予防注射ができるようにしていただけないでしょうか。

市長

熊谷市医師会とやり取りしているものですから、今日は御意見として承りたいと思います。

○市長のまとめ

貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。特に小島地区につきましては、地理的な面等で特殊な状況もございますので、皆さんのお話につきましては、真摯に受け止めて考えていきたいと思っております。

また、来年の 3 月をもちまして、小島中学校につきましても休校措置を取らせていただくこととなります。そこに至るまで、小学校も含めて、地域の皆さん方に色々と御迷惑、御心労を煩わせて、大変申し訳なく思っているところでございます。地域において、休校に当たっての記念式典や記念誌の発行等も予定され、御準備をいただいていることに、心から敬意を表したいと思っております。これからの時間も残り少なくなってきましたので、私も今月末、小島中学校に赴きまして、子どもたちと給食でも食べながら、色々と将来のことについて意見交換をしてみたいと思っております。私どももこの小島地区のために一生懸命頑張っていきたいと改めて申し上げさせていただきまして、まとめのごあいさつとさせていただきます。

本日は長時間、本当にありがとうございました。